

平成 29 年 1 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 シーズメン
代表者名 代表取締役会長兼社長 梶島 正司
(J A S D A Q ・ コード 3083)
問合せ先 経理情報システム課長 保住 光良
(TEL 03-5623-3781)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月期第 3 四半期累計期間において、下記のとおり特別損失を計上いたしました。また、平成 28 年 9 月 28 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 固定資産の減損に係る会計基準に基づく特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、周辺環境の変化および経済環境の変化等の影響を受け収益性の低下が見込まれる一部の固定資産（店舗設備等）について、減損損失 103 百万円を計上いたしました。

(2) 閉店による特別損失の計上

平成 29 年 1 月 11 日開催の取締役会において、財務体質の健全化、事業体質の強化を目的に、平成 29 年 2 月期の期間中に不採算店等 13 店舗の閉店を行うことを決議いたしました。これにより、店舗閉鎖損失 23 百万円を計上いたしました。

2. 平成 29 年 2 月期通期業績予想数値の修正

(平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

(単位：百万円，%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,650	△145	△165	△185	△234.30 円
今 回 修 正 予 想 (B)	5,300	△420	△440	△700	△886.52 円
増 減 額 (B-A)	△350	△275	△275	△515	-
増 減 率 (%)	△6.2	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	6,285	△87	△103	△259	△328.40 円

3. 修正の理由

当第 3 四半期累計期間の売上高につきましては、春物のパーカー類、夏物のポロシャツ、ショートパンツなどの売上が伸びず、また、9 月からの秋冬物の立ち上がりにつきましても、アウターやニット・

カットのインナーなど主力として投入した商品の販売動向は鈍く、苦戦をいたしました。

当期の取組みとして、OEM生産による品質・価格ともに競争力の高い商品群の投入や、レディースや雑貨など成長余地の大きい新たなカテゴリーの商品展開を推進してまいりましたが、お客様から十分な支持をいただける水準には至らず、全社の売上高前年比は84.4%、既存店の売上高前年比は88.3%となりました。

売上総利益につきましては、不動向商品の処分の進めたこと、及び、不採算店舗の撤退に伴う在庫整理などの要因により、売上総利益率は計画を0.7ポイント下回る45.8%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、給与体系の見直し及び、本社の効率化による人員削減等により、合計で計画より11百万円削減いたしました。営業利益の確保までには至りませんでした。

その結果、上記「1. 特別損失の計上について」に記載いたしました内容を含め、当第3四半期累計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は、計画を下回ることとなりました。

通期の見通しにつきましては、今後、ボリュームの大きい冬物商戦における売上確保を図ってまいります。大幅な売上増を見込める環境にはないこと、また、本日、別途公表しております希望退職者の募集に伴う費用を織り込み、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、計画を下回る見込みとなったため、前回予想を修正いたします。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。